

ガラス工事 施工計画書

1. ガラス工事概要

(1) 品種および施工数量

フロートガラス	6.5	m ²
	0.1	m ²
摺りガラス	3.8	m ²
	1.0	m ²
型板ガラス	8.4	m ²
網入型板ガラス	4.6	m ²
網入透明磨ガラス	6.2	m ²
強化ガラス	9.8	m ²
ガラスブロック	2.4	m ²
	9.2	m ²

(2) ガラスのかかり代

3 mm	片側
4 ~ 5 mm	片側
6 . 8 mm	片側

(3) ガラス固定方法

シール材料	コーンシーリング材
)
グレージングチャンネル	

(4) 施工期間

平成25年10月下旬~

見

本

2. 製造メーカーおよび施工業者

(1) ガラス工事施工

1

(2) ガラスメーカー (本社

東京支店

1 - 1

(製造工場

場

5

(3) シール材メーカー

- 1

(4) ガラスブロックメカ

1 - 1

(5) ガラスブロック施工

1

見

本

3. 材 料

- 1) 板ガラスは下記の日本工
フロート板ガラ
型板ガラス
網入り板ガラス
強化ガラス
複層ガラス

- 2) 硝子寸法について
ガラスの寸法については
(別紙資料)

- 3) シーリング材料
材 料 名 : 1 成
副 資 材 : バッ
マス

- 4) ガラス運搬・保管
a. ガラス荷姿は台車およ
b. 作業所内へ材料搬入は
せしておく。
c. 指定された場所に種別
や器物運搬等の妨害に
置く。

する。

標準かかり代とする。

JIS A 5758

る。

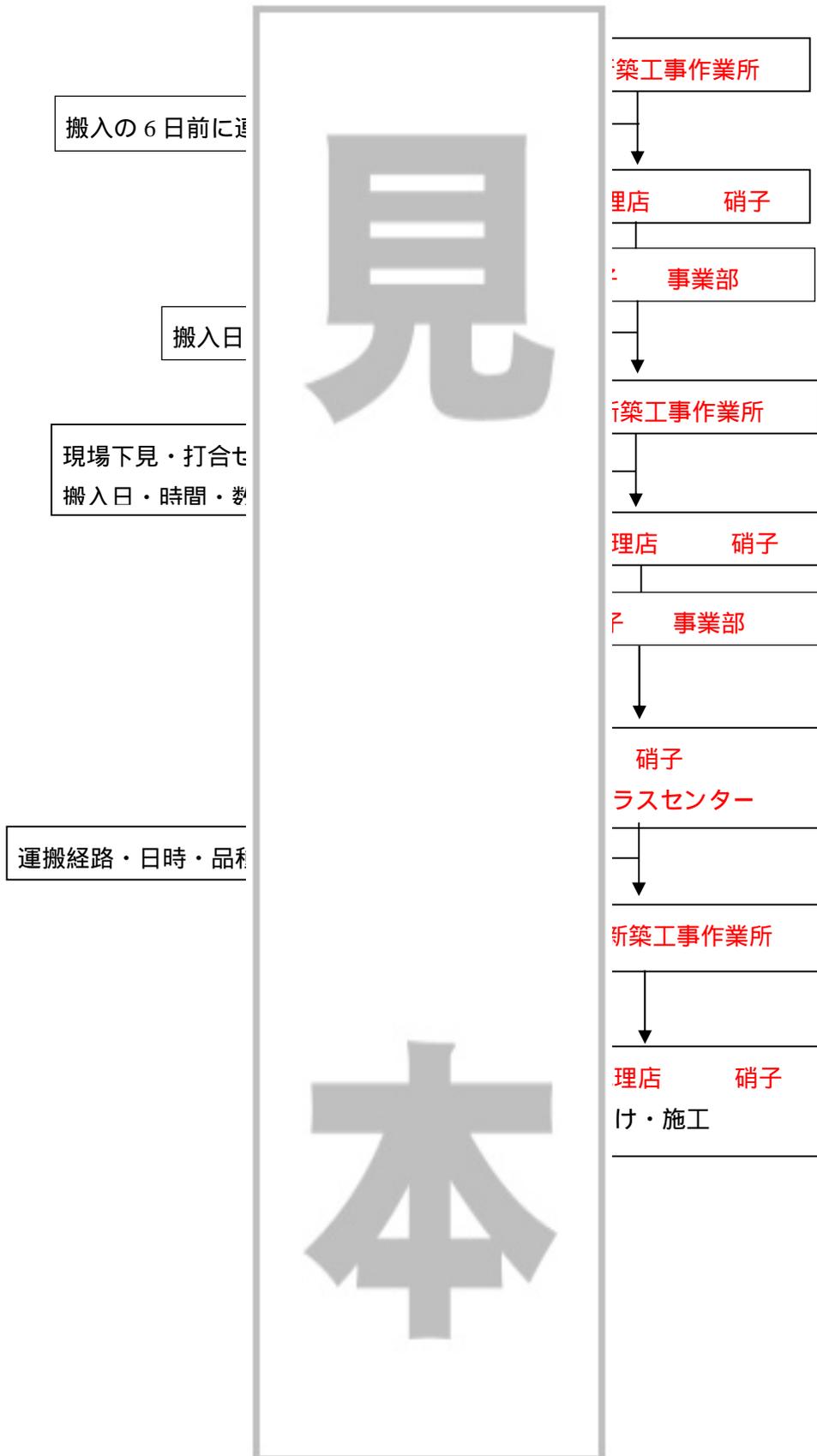
荷揚げ等について係員と十分打合

えんと保管し、他業種作業員の通行
や汚損のないように十分注意して

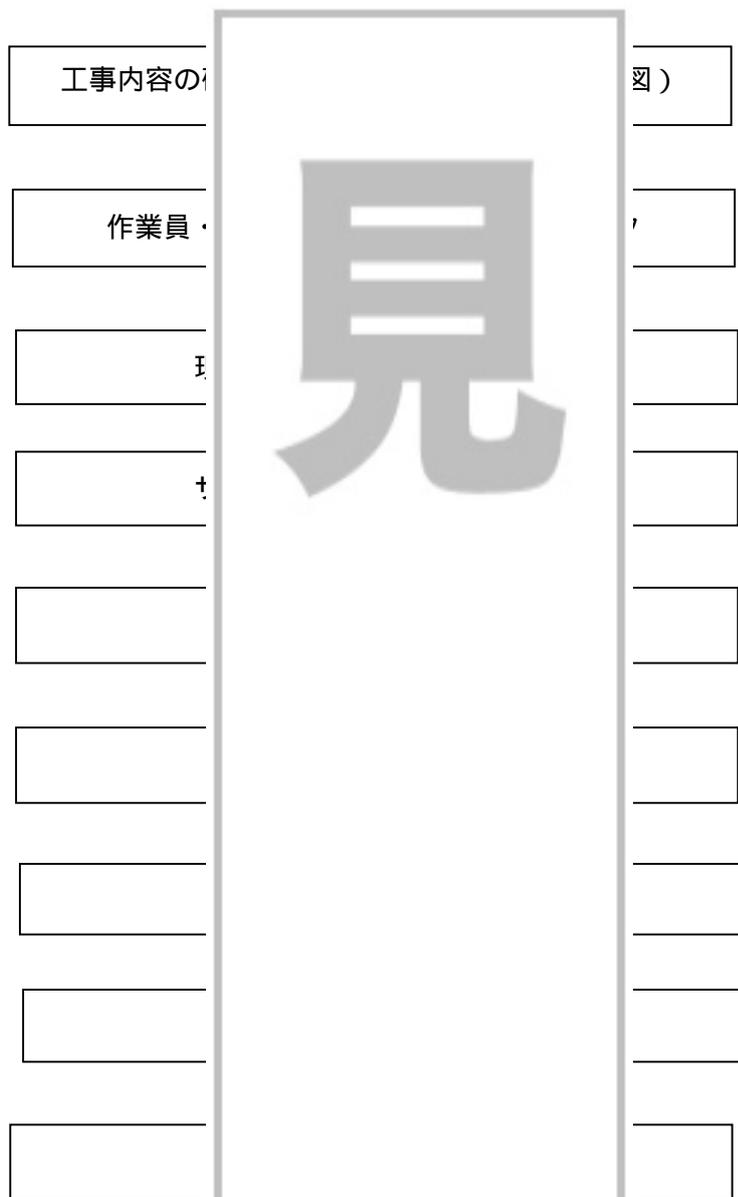
見

本

5) 材料搬入計画



4. 硝子工事（概略）フローチャート



5. ガラス工事の留意点

1) 工事内容の確認

- a. 工程表による工程把握
- b. 明細書および色分図に
上の確認をする。
- c. 硝子納まり図クリアラ

る。

図の確認およびシーリング材等仕様

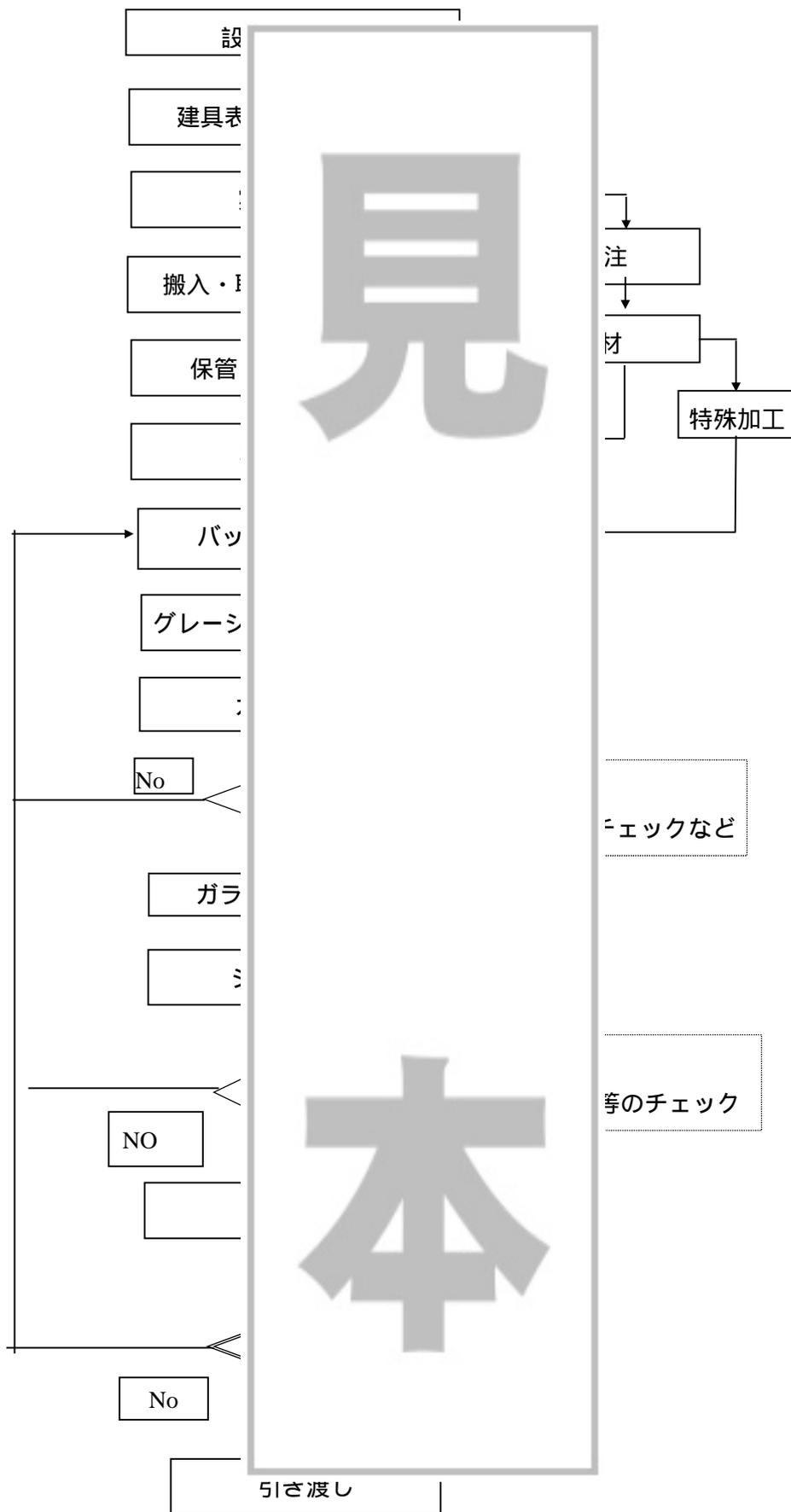
り代の確認。

2) 作業員、現場保管、製品

- a. 作業時期、搬入車両、荷下し場、ストックヤード等作業員に関する事項を監督員と打合せし、
現場状況を点検、確認の上、材料を仮置する。

- b . 荷受けに際しては、品種、厚さ、数量、破損の有無を、伝票、明細書と照合し確認する。
- c . 荷揚げ方法、作業員の作業、安全に十分注意することを確認する。
- d . 置場の条件として、現場は、床、天井等、仕上げの妨げにならない場所を選ぶ。
- e . 材料保管には、溶接、
- 3) 現場状況の確認
- a . 置場、硝子置場所まで
- b . 研り作業および落下物
- c . 天井下地、ダクト、カ
- 4) サッシおよびサッシ溝の
- a . サッシ精度の点検、実
- b . サッシ溝の清掃、構内
- c . 硝子嵌め込み後の養生
- 5) 硝子嵌め込み
- a . 網入硝子は、ワイヤー
- b . サッシ等の押し縁を取
注意する。
- c . セッティングブロック
し、下辺場合端から巾
- d . 窓の開閉等で、硝子が
ヶ所にも設置のこと。
- e . ただし、特殊な形状、
- 6) 養生、処置
- a . 硝子注意紙は、正しく
- b . 必要に応じて養生フイ
- 7) 自主検査
- 自主検査は、施工中および
検査の結果、不良個所の
- a . サッシ精度の点検、実
- b . サッシ溝の清掃、構内
- c . 硝子嵌め込み後、サッ
- 見
- 接を必要とする作業の有無、確認。
- 枠の垂れ、曲がり等点検。
- 4 に塗布し、防錆処理を施す。
斤損、曲げ、摺傷をつけないように
ルとし硬度 90 以上のものを使用
- 刃の硝子高さ 1/4 の部分、上方の 1
る。
- る。
- 手直しをする。
枠の垂れ、曲がり等の点検。
- 本

6. 硝子工事詳細フローチャート(2)



7. 施 工

事前にサッシ、天井、外部等と同様の作業状況を確認して、ガラス嵌め込み後に他工事によりガラス破損及び溶接損傷等を監督員と打合せする。

1) 硝子施工手順

a. 現場搬入

2t 車もしくは4t 車をクより荷下し、建物内

b. 荷揚げ

リフト・エレベータの作業者による。

c. 硝子取付

建物内に取込まれた硝子外部押し縁サッシの場合出し、上部倒れを足場吸盤を用いて外部より下部硝子エッジが、溝に入れセッティング押し縁を取付ける。

上下、左右のかかり代バックアップ材にて仮硝子注意紙を表示するシーリング施工をする

2) 施工上特に留意すべき事

ガラス切口にハマ受け直ちに持帰る。

網入りガラスの小口はガラスにキズ、汚損、セッティングブロック前工程の作業状況確認ガラスかかり代のチェックガラスの嵌め込み後はガラスクリーニング作

3) 夜間作業

a. 原則として、夜間作業

は原則として行わない。防犯上等の目的で急きょ要請があった場合は行うこともある。

b. 夜間作業は照明不足また足元不備等になりがちで危険を伴うので設備の点検と作業は慎重に行う。

見

本

に待機、指示を受けてからトラッ

しておき、手待ちにならないように

に積み込み移動を行う。

取付け開口部より外に

に硝子を差し込む。

下部サッシをかわし、均等に下

する。

いガラスと取替え、不良品は

塗布する。

は取り替える。

度90度)

さに統一して貼る)

い、地覆等を汚さないように行う。

雨風を防ぐ、保温する、あるいは防

- c . 特に高所作業の場合は危険度が高いので、できるだけ避ける。
やむを得ず作業する場合は、係員と十分な打合せを行う。



2) 各作業の注意点

a. 天候

降雨・降雪時または降雨中中止する。

降雨後の作業開始は監視気温が3℃以下になった場合は作業を中止する。

プライマーの塗布、目地充填の場合は、監督員と協議を受けて行う。

b. 施工前の検査

施工に先立ちシーリング材検査し支障がある場合は

c. 被着面の清掃

被着面にシーリング材清掃溶剤を含ませた布

d. バックアップ材の装着

バックアップ材は目地施工中、降雨・降雪で

e. マスキングテープ貼り

目地周辺の被着体のマスキングテープを貼る。マスキングテープは布が表面に残らぬ製品を貼ったまま長時間放置。充填仕上後速やかに除去

f. プライマーの塗布 (2成分形の場合)

プライマーは被着体に塗布する。プライマーは、当日プライマーを塗布した布で清掃し、万一、プライマー塗布面が乾燥後、清掃し、再塗りをする。

g. シーリング材の混練 (2成分形の場合)

被着面が未乾燥の場合は、再塗り施工する。

目地に支障をきたすと予想される場合は

または50℃以上になる恐れのある場合は、作業を行う場合は、監督員の承諾を受けて行う。

目地および汚れ等については、施工者が清掃する。

ホコリ・モルタル屑等は、除去し、清掃剤に取替え、清掃効果を高める。

目地の状態を調査し作業する。目地が乾燥後、清掃し、再装着する。

目地が通り良く仕上がるように

目地によって軟化した粘着材

目地を充填することがあるので、目地を充填する。

目地を均一に塗布する。

目地が乾燥後、清掃し、清掃剤

目地を塗り直し、目地を塗り直しした場合も同様

各々のシーリング材基材として硬化材が同一セットであることを確かめた上、規定比率に従って混練する。

現場シーリング材混練

混練時間は最低 10 分間

h . ガンへの充填 (2 成分)
ガンへの充填の際はシ
量のシーリング材は気泡が

意して行う。また、缶底に残った少
ンへ充填する。

i . 目地への充填
適正なノズルを装着し

リング材を充填する。

j . ヘラ仕上
仕上は、ヘラ (パレッ
内部まで力が伝わるよ
ヘラは、力が均一にか
の有無等を確認の上、

治具等) を目地に合わせて作 り、
ら。

作成し、シーリング表面の波立ちや気泡

k . マスキングテープ除去
ヘラ仕上後、マスキ

l . 清 掃
作業終了後、ほこりの
示を受ける。

部分は監督員と打合せ、 指

m . 作業終了後は目視にて

9 . ガラスクリーニング作業

1) 室内側

硝子面を水に濡らした布
等を除去する。なお、落
用し上記要領にて除去す

ジーを使用してゴミ、ホコリ、汚れ
汚れ等を拭き取り、最後に水を使

2) 外部側

クリーニング用カッター
濡らしてスキージーにて
ため時期については監督

を落とし、水に濡らした布で表面を
現場または、ゴンドラ作業となる

3) 作業注意事項

外部足場作業の場合、強風、雨その他危険を予知した時は作業を避ける。

他の仕上工事の損傷防止を図る。

見

本

作業で生じたゴミ、ホコリ、クズ等の除去を行う。

- 4) 引渡し後のメンテナンス
 硝子の美しさを長く保つ
 領により月1回のクリー

目する汚れを除去するため、上記要

自主検査チェックリスト

工事名		新築工事		点検者	
検査項目		状況	合・否		
施工前	・サッシの調整の確認				
	・ガスケットの正規取				
	・押縁、ビス等の確認				
	・セッティングブロッ				
	・塗装の下塗り等の研				
	・溶接作業の終了の研				
施工中	・ガラス寸法違いの有				
	・ガラス掛かり代の研				
	・ガラス押縁の納まり				
	・ガラス注意表示確認				
施工後	・ガラス割れ、傷、汚				
	・ガラスの押縁の納まり				
	・シーリングの仕上げ				
	・ガラスクリーニング				

見
本

見

本